



図 1 4 4 ビットシフトレジスタのタイムチャート

〔後片付け〕

- (1) 論理回路トレーナーの電源スイッチを OFF にする。
- (2) 実験で使用したジャンパー線を外してもとの場所（袋やケース）に収める。
- (3) もともと配線してあった線は取り外さないように注意すること。
- (4) 論理回路トレーナーの電源接続口から AC アダプターを取り外す。
- (5) AC アダプターの電源プラグを電源（コンセントや OA タップ）から取り外す。

5. 考察

- (1) JK フリップフロップを AND、OR、NOT で構成する場合の回路例を調べ、報告せよ。
- (2) JK フリップフロップのタイムチャート（完成した図 5 のタイムチャート）より、SW3（CLK）が ON となるとき SW1（J）、SW2（K）の入力と、Q（L1）の出力の関係を表にまとめ、報告せよ。
- (3) シフトレジスタを使った応用例としてリングカウンタがある。どのような回路か調べ、その特徴について報告せよ。

2007.3.31 Tomoya Saito

2015.8.31 Tadashi OKADA

2018.09.06 Masahiro Kawai